

川や水路にゴミなどを捨てないで！

大雨や洪水時の排水機場で事故や故障の原因に

令和3年8月、佐賀県小城市(おぎし)の排水機場で作業中の70代男性操作員が除塵機(じょじんき:ポンプ場に流れてくるゴミを取り除く機械)に上半身を挟まれ亡くなる事故がありました。

大分市内には、このような排水機場が14施設あり、地元消防団員や委託された業者が運転作業を行っており、大雨の中、ゴミを取り除いています。

台風や大雨時に、川や水路から大量のゴミが流れてくると、事故や機械の故障につながるため、水路や川にゴミなどを捨てたり、強風でバケツやプランター等が飛ばされることのないよう注意をお願いします。



令和2年7月豪雨 左:排水機場の除塵機 右:水門に溜まった多量のゴミ

排水機場の役割をご理解いただき、操作員の命を守るため皆様のご協力をよろしく
お願いします。

大分市河川・みなと振興課

☎ 097-537-5632

大分市下水道施設管理課

☎ 097-537-5646

本閲覧物は、大分市ホームページにも掲載しています。